

教員紹介&出張講義パンフレット

2025



新しい視点から
未来を見つめる

東北公益文科大学とは

2001(平成13)年に山形県および庄内全市町村により、山形県酒田市に公設民営方式で設立されました。公益学部公益学科の中に、経済・経営、政策、地域福祉、国際教養、観光・まちづくり、メディア情報の6つのコースを設置し、学生は2年次から専門コースに所属しながら学びを深めていきます。

★2026(令和8)年4月の公立化に向けて準備を進めています。

★2026(令和8)年4月に国際学部国際コミュニケーション学科を新設予定です。※認可申請中

※情報は2025(令和7年)4月現在。計画は予定であり、内容を変更することがあります。

公益大の学びがパワーアップ!

Point ①

コース・ユニットの組み合わせで、より自分自身に合った弾力的な学びが可能
ダブルメジャーという選択肢もあり!

Point ②

予測不可能な時代を生き抜くための「起業マイソンド育成プログラム」を開講

Point ③

産(企業・団体)学(大学)官(行政)が連携し、“現場”で課題解決について学ぶ「超学際演習」

出張講義について

本学では教員による高校生を対象とした出張講義(講演)を、旅費も含め無料で実施しています。本学には文系・理系さまざまな専門分野を研究する教員が在籍していますので、出張講義のテーマは、高校生にとって身近なものから全く未知かもしれない分野までさまざま用意しています。高校ではなかなか学ぶ機会がない学問分野に触れることは、大学での学びの一端を体験できることはもちろん、「新しい視点から未来を見つめる」ことにつながり、将来の選択肢も広がると思います。また、探究学習の分野においても専門知識が豊富な教員による模擬講義やテーマに対して専門的な視点からアドバイスなども行っています

出張講義の実施例紹介

Case 1

対象: 高校1,2年生 模擬講義体験(分野: マーケティング)
内容: 企業による商品開発と宣伝戦略の神髄を探ろう〜湖池屋・プライドポテの限定商品開発にチャレンジ〜
講師: 広崎 心 教授(経済・経営コース)

Case 2

対象: 高校1,2年生 模擬講義体験(分野: 情報システム)
内容: スマホで宝探しゲームが、「公益」になる?
講師: 広瀬 雄二 教授(メディア情報コース)

調整が難しい場合もございますが、なるべく希望に沿うことができるよう対応させていただきますのでお気軽にご相談ください。
(出張講義申し込みの詳しい流れについては、43ページをご覧ください)



出張講義のテーマ (目次)

コース	出張講義テーマ例	名 前	ページ
経済・経営	なぜ、株式会社によって警察・消防は経営できないのか	三 木 潤 一	04
	循環型社会のためのリサイクル技術	古 山 隆	05
	身近な商品やサービスにおけるマーケティング戦略の深層を探ろう!	広 崎 心	06
	企業を読み解く会計学入門	松 尾 慎太郎	07
	「お金」の心理学	渡 辺 伸 子	08
政 策	私的と公的の違いから公共の必要性を考えよう!	阿 部 公 一	09
	立憲主義と民主主義: 基本的人権の意義を考える	森 元 拓	10
	国会の「代表性」を考える	門 松 秀 樹	11
	自治体行政の新たな潮流	小 野 英 一	12
	“子育て支援”から日本の社会、教育の特徴を考える	白 旗 希実子	13
	国際社会のルールを理解する	樋 口 恵 佳	14
地域福祉	ニュージーランドから学ぶ多文化共生、福祉と公益	武 田 真理子	15
	福祉って何? ~一人ひとりが大切にされる社会~	澤 邊 みさ子	16
	「子どもの権利条約」を知っていますか?	白 畑 真由美	17
	地域と共存する「社会福祉法人」とは?	鈴 木 淳 一	18
	福祉って何だろう?	小 関 久 恵	19
	個人的なことは社会的なこと	藤 原 良 太	20
国際教養	コモンズと地域のレジリエンス	梅 津 千恵子	21
	世界の今を彩る言語、文化、社会と歴史	星 宏 人	22
	効果的な英語の学び方	大 山 慎 一	23
	文学のすすめ	呉 衛 峰	24
	クリティカル・シンキングのススメ	松 田 憲	25
	英米文学の小説作品の鑑賞	加 藤 良 浩	26
	途上国の多様性を理解した上で国際協力を考えてみよう	東 江 日出郎	27
	英語の発音のスキルアップ	フェック・エドモンド	28
	かじってみよう中国語	渋谷 周二	29
	考えを世界と伝え合うためのスキルを発展させる	バンティング・ティモシー	30
観光・まちづくり	ジブリのアニメから里の風景を考える／中心市街地のまちづくり	温 井 享	31
	自然を大切に守り育て、地域を元気にしよう!	呉 尚 浩	32
	新しい経済をつくるローカルベンチャー	青 木 孝 弘	33
	サブカルチャー空間の「ことば」研究	渡 辺 暁 雄	34
	歴史的街並み保全の国際比較	張 紅	35
メディア情報	交通行動に関わる人間の心理特性について	神 田 直 弥	36
	消えたデータが復活!『情報漏洩のからくり』／ドローン飛ばして強くなる?	広 瀬 雄 二	37
	天文学入門	山 本 裕 樹	38
	対称性と自然界にある物理	西 村 まどか	39
	危ない Web サイトとは?	植 田 和 憲	40
	星から読み解く宇宙の歴史	平 居 悠	41
その他	報道現場の「分かれ道」で考える	加 藤 嘉 明	42

なぜ、株式会社によって 警察・消防は経営できないのか

株式会社をはじめとする企業は、私たちの生活に必要なモノ・サービスを市場において供給しています。市場で取引できるということはどういうことなのか、考えてみましょう。

経済学は、現実の複雑な経済現象の本質を理解し、政策提言を行ったりするために欠かせません。講義では、経済学の基本的な枠組みを紹介します。

三 木 潤 一 教授

●出張講義分野

家計、企業、政府の経済活動に関する分野

●研究分野のキーワード

公民の役割分担、地方公共サービスの広域化・大規模化、最適資源配置、コモンプール財としての観光資源、観光客の移動ネットワーク、ごみ処理、地方公会計

●専門分野

公共経済学、財政学、地方財政論

※もっと詳しく
知りたい方は



https://researchmap.jp/miki_junichi



大学ではこんなことを研究しています

地方公共サービスにおける公共部門と民間部門の役割分担や広域化・大規模化などについて、経済学の視点からごみ処理を中心に研究を行ってきました。

民間委託の推進をはじめ、いかに生産性を高めるか、という生産面からアプローチするとともに、費用負担面から、サービスの費用は税と料金のどちらで賄うべきか、といった問題に取り組んでいます。

先生からメッセージ

私は、大学教育の重要な目的の一つに、「証拠に基づき考える力」を養うことがあげられると考えています。他者を説得し、自らも真に納得するためには、「証拠」が必要です。単なる感想とは違って、「考える力」とは、「証拠に基づいて」ある事柄を正確に判断したり、検討したりしたうえで、自らの考えを明瞭に打ち出せる力のことです。

これからの人生で、皆さんは様々な問題に直面することになるでしょう。そのとき、大学で身につけるこの「証拠に基づき考える力」で乗り越えていてもらいたいと思います。

略歴 関西学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程修了。博士（経済学）。民間企業等、関西学院大学大学院研究員、関西学院大学商学部准教授を経て、2015年4月より東北公益文科大学准教授。2019年4月より現職。2020年4月より公益学部長。

循環型社会のための リサイクル技術

循環型社会とは、廃棄物の発生を抑制、廃棄物等のうちの有用なものの利用、廃棄物の適正処理を行うことで、環境への負荷が低減される社会のことです。廃棄物をリサイクルするためにはそれぞれの素材ごとに分ける必要があります。本講義では、リサイクルの現場で使用されている選別技術について解説を行います。

古山 隆 教授

●出張講義分野

リサイクルおよび廃棄物処理の分野、SDGs(目標2、6、7、12)

●研究分野のキーワード

リサイクル、再生可能エネルギー

●専門分野

リサイクル工学、資源工学



大学ではこんなことを研究しています

持続可能な循環型社会の構築に向けて、リサイクル、エネルギーおよび環境保全についての研究を行います。具体的には、地域における各種廃棄物のリサイクルに関する実験や地域における各種エネルギー（太陽光、風力、バイオマスなど）の調査等を行っています。

先生からメッセージ

大学での教育は、講義による知識や技術の教授、実験によるそれらの実践、加えて、現場での体験も重要であると考えています。このため、共同研究を行っている企業を通して、リサイクルやエネルギーに関する知識や技術の体験教育を心がけています。本学では前述のような教育を行っていますので、様々な現場に積極的に出向き、そこで起こっている問題や課題を見出して自分なりの解決方法を考える人に来てほしいです。

略歴 九州大学大学院工学研究科資源工学専攻博士課程後期課程修了。博士(工学)。
九州大学工学部助手を経て、2010年4月より東北公益文科大学准教授。2015年4月より現職。

商品やサービスがヒットした要因や商品開発に関心がある方

身近な商品やサービスにおける マーケティング戦略の深層を探ろう！

なんでこんなCMを制作したんだろう？なんでこんな商品パッケージにしたんだろう？企業のマーケティング部や広告代理店は取り扱う商品やサービスをヒットさせるために絶えず試行錯誤を繰り返しています。商品開発、宣伝広告、販売活動などに秘められるマーケティング戦略の深層について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

広 崎 心 教授

●出張講義分野

マーケティング戦略、商品開発、契約交渉

●研究分野のキーワード

商品の付加価値化、戦略的提携と提携管理、企業の海外進出

●専門分野

マーケティング・商品開発、戦略的提携、産業立地



大学ではこんなことを研究しています

「価値の最大化」が研究のテーマです。企業は価値の最大化のために、自社品に付加価値を携えたり他社と共同研究や共同販売を行います。最適な付加価値化のための商品開発、マーケティング戦略、戦略的提携のあり方を研究しています。最近では地方自治体、産業支援財団、地方銀行による地域企業の海外進出支援方法も研究しています。

先生からメッセージ

これからの将来、自らの意思で判断し行動する機会がより増えてきます。最適な判断をするためには多くの知識や経験が必要です。高校時代から絶えずこのことを意識し、一日一日を大切に過ごして下さい。そして、公益大では自らが判断するために必要な知識を習得したり、ディスカッションをする機会がたくさんあります。一緒に考え一緒にチャレンジしましょう。

略歴 早稲田大学人間科学部卒、日本大学大学院(MBA)、東京理科大学大学院(MIP)、日本経済大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士(経営学)。

大手製薬企業等、日本経済大学、同大学院准教授を経て、2021年9月より東北公益文科大学准教授。2025年4月より現職。

人と社会の関わりについて考えたい方に

「お金」の心理学

現代社会で暮らしていくために「お金」が必要であることは言うまでもありませんが、実は「お金」はただの道具ではありません。「お金」が私たちに与える心理的な影響についてお話します。

渡辺 伸子 准教授

●出張講義分野
心理学

●研究分野のキーワード
お金に対する態度、青年期、社会参加

●専門分野
青年心理学、応用心理学

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://nobukowatanabe.tumblr.com/>



大学ではこんなことを研究しています

人々が持っている「お金についての考え」を研究の中心に据えています。募金をする人とならない人の違いは？就職への心構えができていない大学生はお金についてどう考えているの？など、お金についての考え方から、人々がどのように社会と関わろうとしているのか探っています。

先生からメッセージ

大学時代には、大いに学び、大いに遊んでほしいと思います。自分の可能性に期待して、大学生活を思う存分充実させてください。

卒業時には、「調べればわかることを、調べてわかる人」になってほしいと思っています。情報は日々増えていきます。その中で、有益な情報にアクセスできる能力を持った社会人になってほしいと思います。自分も周りも豊かにできる人になってください。

略歴 筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士課程後期課程修了。博士(心理学)。
中部学院大学地域連携推進センター特任助教を経て、2017年4月より東北公益文科大学講師。2025年4月より現職。

ビジネスの言語である「会計」について学びたい方に

企業を読み解く会計学入門

近年、会計に対する関心が非常に高まっています。企業が公表する貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を理解する能力、すなわち、会計リテラシーがビジネスパーソンに求められています。身近な企業のケースもまじえながら、財務諸表を通じて企業を分析し、会計リテラシーを身につけてもらいたいと思います。

松尾 慎太郎 准教授

- 出張講義分野
簿記、企業財務分析
- 研究分野のキーワード
監査、会計、ディスクロージャー
- 専門分野
財務会計、監査論



大学ではこんなことを研究しています

企業活動の国際化が進む中で、会計基準の国際的統一化が進められ、今日の国際財務報告基準では、公正価値の重要性が増しています。しかし、公正価値には、経営者による見積りといった不確実な要素が含まれる可能性があります。そのような公正価値を監査人が従来と同様に監査することが出来るのかについて研究をしています。

先生からメッセージ

学生が堅苦しいイメージを抱かないように、身近なケースを通じて、学生の知りたい・学びたいという意欲に働きかけることを教育するうえで心がけています。社会に出れば、答えは必ずしも1つではないので、主体的に自分で考え、行動のできる学生を育てたいと考えています。公益大では、自分の利益のみではなく、「公益に資するとはどういうことか?」という、より一つ大きな視点で物事を考え、行動のできる学生の育成を目指していますので、ぜひ公益大で一緒に学びましょう。

略歴 関西学院大学大学院商学研究科博士課程後期課程修了。博士(商学)。
2016年4月より東北公益文科大学助教。講師を経て、2021年4月より現職。

公共の仕組みを理解し、公共への関心を高めたい方に

私的と公的の違いから 公共の必要性を考えよう!

人生100年時代! 公共との関わり合いなしには生きていけないと思います。そもそも、年金は「私的」にも「公的」にも運営できるのに、どうして公的に関与する必要があるのでしょうか? 財の供給メカニズムである市場原理と多数決原理の役割分担から、公的年金の必要性和私的年金の役割について考えていきます。

阿 部 公 一 教授

- 出張講義分野
社会保障・公的年金
- 研究分野のキーワード
年金教育と情報発信、年金広報政策、国民年金加入行動啓発
- 専門分野
年金教育



大学ではこんなことを研究しています

平成30年度日教弘本部奨励金の助成を受けて、「高校の新設「公共」科目における年金教育の単元開発と実践的ディベート教材開発」の研究を進めてきました。また、「国民年金行政における年金広報政策としての年金教育」についても研究を進めています。今後は、「SDGsと社会保障・年金教育」についても展開していきたいと思います。

先生からメッセージ

政策コースに所属し、「公的年金論」「社会保障論a・b」「政策入門」「プロジェクト型応用演習(国民年金加入行動啓発プロジェクト)」「基礎演習」等の科目を担当しています。『国民年金加入行動啓発』『年金ディベート道場』『令和の年金広報コンテスト』のKeywordを検索してみてください。演習科目を通じて作成した教育用動画を視聴することができます。

略歴 明治学院大学大学院経済学研究科修士課程修了。修士(経済学)。
2001年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2013年4月より現職。
厚生労働省年金局の依頼により、「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」の構成員を務めた。

立憲主義と民主主義： 基本的人権の意義を考える

基本的人権とは何でしょうか。現代において、基本的人権はどのような意味・意義があるのでしょうか。また、現代は民主主義社会であるとされますが、民主主義とはどのようなものなのでしょう。このようなことについて、「立憲主義」の観点から、一緒に考えていきたいと思います。

森 元 拓 教授

- 出張講義分野
国家や法に関する分野
- 研究分野のキーワード
市民社会と国家、権利と法
- 専門分野
法思想史、法哲学



大学ではこんなことを研究しています

もともとは、ドイツの国家学者の思想を研究していました。近年では、それをふまえ、戦前日本の憲法学者（たとえば、上杉慎吉や美濃部達吉など）の思想を研究しています。

先生からメッセージ

大学というのは、正解のない「問い」を真剣に考えて、自分なりの「解答」を得る場です。様々なことから考慮に入れながら、真剣に考えることによって、今までの「常識」が必ずしも常識ではなかったり、今まで「正しい」と思っていたことが必ずしも正しいとは限らないということに気がつくことになります。このような営みを経て、人は、「自分で考える」ことができるようになるのだと思います。

我々は、皆さんが真剣に考えることを手助けします。公益大で、一緒に、真剣に考えてみませんか。

略歴 北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。修士（法学）。北海道医療大学講師、山梨大学准教授、教授等を経て、2022年4月より現職。

国会の「代表性」を考える

国会は「全国民の代表」とされていますが、日本には衆議院と参議院の2つの議院があります。衆議院と参議院は、それぞれ誰を代表しているのでしょうか。本講義では、国会の「代表性」を考えることで、「一票の格差」など、国会に関する様々な問題との関係を考えていきたいと思います。

門 松 秀 樹 教授

- 出張講義分野
日本政治論、日本近現代史
- 研究分野のキーワード
政官関係、官僚制、幕末・維新史
- 専門分野
日本政治論、日本政治史



大学ではこんなことを研究しています

政治と行政は国家の統治において車の両輪の関係にあり、この両者の関係である政官関係について研究をしています。現代の日本政治における政策の形成を事例として分析するだけでなく、その歴史的背景を探るために、明治維新を事例として明治政府による旧幕臣の登用状況などについても事例として分析をしています。

先生からメッセージ

大学は、高校生までの間に積み重ねてきた「学習」に「研究」が加わることで学問を学ぶ楽しみをより深く知ることができる場所です。「研究」は自分の興味・関心に基づいて自由に進めることができます。ただ、それは自分自身でテーマを決め、自分自身で考え、自分自身で論証していくという「自主性」が求められることでもあります。学ぶということは大変なこともあります、何よりも楽しいことでもあります。一緒に学んでいきましょう。

略歴 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期課程修了。博士（法学）。
慶應義塾大学、尚美学園大学等の非常勤講師を経て、2020年4月より東北公益文科大学准教授。2023年4月より現職。

自治体行政の新たな潮流

人は誰もがいずれかの自治体に住み、様々な行政サービスを受けながら暮らしています。皆さんも人生のあらゆる局面で自治体と関わっていくことになると思います。本講義では自治体行政の新たな潮流について解説した後、実際に皆さんから地元自治体についての分析を行っていただきます。

小 野 英 一 教授

- 出張講義分野
自治体の行財政、「公益学」とは何か？
- 研究分野のキーワード
自治体の行財政改革・マネジメント、公益論
- 専門分野
行政学、公益学



大学ではこんなことを研究しています

近年、全国で様々な自治体が新しい行財政改革に取り組んでいます。そうした自治体の行財政改革やマネジメントについて、調査や事例研究を行っています。また、公益大は日本で初めての「公益学」を学ぶ大学ということもあり、行政や地域づくりについて「公益」という観点からアプローチする研究も行っています。

先生からメッセージ

公益大は開学以来、「公益学」とともに「大学まちづくり」を理念に掲げ、地域に飛び出し、地域とともに研究・教育・活動に取り組んでいます。まさに「地域がキャンパス」。公益大と一緒に「公益学」「大学まちづくり」を学びませんか？

略歴 東北公益文科大学大学院公益学研究科博士課程後期課程修了。博士（公益学）。自治体勤務を経て、2016年4月より東北公益文科大学准教授。2020年4月より現職。

「教育と社会」の関係について学びたい方に

“子育て支援”から日本の社会、教育の特徴を考える

親の育児への不安や負担感の増大が指摘されるなかで、政府や地方自治体は、子育て支援策を展開してきました。“子育て支援”とはなにか。子育て支援をめぐる政策、自治体の子育て支援、子育てに関する量的・質的調査の結果などから考えてみましょう。そして、そこから、日本の社会、教育の特徴を考えてみましょう。

白旗 希実子 准教授

- 出張講義分野
教育学、生涯学習論
- 研究分野のキーワード
教育社会学、専門職
- 専門分野
教育社会学



大学ではこんなことを研究しています

主に社会福祉領域における専門職の教育システムに関する研究、専門職をめぐる教育システムの国際比較をおこなっています。

先生からメッセージ

卒論作成時に、自ら課題を設定し、課題を考えるために必要な情報を収集、分析する力を身につけてほしいと考えています。そのため、専門演習では、基礎的な文献の輪読により、論理的な思考力を鍛えています。

教職課程では、講義・演習で教職に必要な知識・技術・態度を身につけ、教育実習、教職実践演習、卒業後の学びへとつなげています。

略歴 東北大学大学院教育学研究科博士課程後期課程修了。博士(教育学)。
日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、2014年4月より東北公益文科大学講師。2018年4月より現職。
教員免許状(小・中・高)、社会福祉士の国家資格を有する。

国際社会のルールを理解する

漁業規制、気候変動、島の領有権、経済連携協定、武力攻撃、難民、海洋ごみによる海洋の汚染、難民、北朝鮮の核開発…日々のニュースの中で、国際社会の話題について耳にしない日はないと思います。

本講義では、トレンドとなるニュースの話題について取り上げ、国際社会ではどのような制度があるのか、どのように運営されているのか、わたしたちの暮らしにどう関わってくるのかについて、お話していきます。

樋口 恵佳 准教授

- 出張講義分野
国際法、海洋にかかわる国際制度、国際環境法
- 研究分野のキーワード
海洋法、国際法、国際環境法
- 専門分野
国際法学



大学ではこんなことを研究しています

海にかかわる様々な国際制度について、国際法やガバナンスの視点から研究をしています。最近では、国と国との約束を国内で実施しなければならないとき、「どこまでやれば守ったことになるのか」という基準や判断の方法について調べています。

先生からメッセージ

様々なニュースが気になるとき、事実を調べて物知りになることは、今の時代、誰にでもできることになりました。大学では、課題学習や演習を通じて、物知りになるだけではなく、法という社会科学のメガネを通じて思考し、分析を行うための訓練をすることができます。この経験で得た思考力や分析力は、卒業後も一生学生の皆さんに寄り添い、学びの助けになってくれることでしょう。

略歴 東北大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。博士（法学）。
笹川平和財団海洋政策研究所研究員を経て、2017年9月より東北公益文科大学講師。2021年4月より現職。

福祉まちづくり、多文化共生、公益学を学びたい人のために

ニュージーランドから学ぶ 多文化共生、福祉と公益

ニュージーランドは世界初の8時間労働制、最低賃金制度、女性参政権、包括的社会保障制度を実現した社会政策の先進国です。その背景には多文化共生という難しい課題への挑戦があり、またそのことが環境政策、COVID-19対策などの公益政策に結び付いていることを皆さんと共有し、日本社会の課題と照らし合わせて考えたいと思います。

武田 真理子 教授

- 出張講義分野
公益学、福祉まちづくり、ニュージーランド
- 研究分野のキーワード
社会政策、コーディネーション
- 専門分野
社会政策、公益学



大学ではこんなことを研究しています

世界で最初に全国民対象の包括的な社会保障制度を構築したニュージーランドで進められている、官民協働による自立支援と地域福祉の推進のための社会保障制度改革と多様な主体を結びつけるコーディネーションに関する研究を行っています。また、地域人材育成、スクールソーシャルワーカーの養成に関する研究にも取り組んでいます。

先生からメッセージ

最近、よく全国の大学や教育関係者から「公益大ほど地域の協力を恵まれて地域に密着している大学はない」と言われます。これまで卒業生、教職員、そして地域の様々な方が大学づくりと地域の課題解決に取り組んできた成果が現れ始めているのだと感じています。ぜひ公益大と一緒に学び、専門的な知識を身につけたうえで、性別、年齢や職業などの立場を超えて、多様な人々の間の対話と連携・協働を推進できる人材に育ってほしいと思います。お待ちしております！

略歴 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。修士(経済学)。
2001年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2014年4月より現職。
2020年4月より大学院公益学研究科長。
ニュージーランド研究所所長。日本ニュージーランド学会会長など。

福祉って何？ ～一人ひとりが大切にされる社会～

社会福祉を支える基本的な原理のなかで最も基盤にあるのが基本的人権の尊重です。社会福祉の対象は、社会の仕組みによって不利益を被っている人たちです。不利益を被っている人、困っている人を助け、皆の基本的人権を実現し、そして、一人ひとりが大切にされる社会を築くこと、これが社会福祉です。

澤 邊 みさ子 教授

- 出張講義分野
社会福祉、障害者福祉、雇用問題
- 研究分野のキーワード
福祉、障害、ユニバーサルデザイン
- 専門分野
社会福祉、障害者福祉



大学ではこんなことを研究しています

誰もが働く権利を持っていますが、今の社会では、障害があるために、働く機会に恵まれない人たちがいます。働きたいと望んでいる障害のある人が、働く権利を実現するために必要な支援や制度のあり方、障害の有無に関わらず共に働く方法があるのではないかと、これが私の研究テーマです。

先生からメッセージ

誰でも自分が生きたいように生きる権利があります。しかし、私たちは一人で生きているわけではなく、また生きていけるわけでもありません。誰もが自分勝手に行動したら、きっとどこかで衝突が起こってしまいます。互いに尊重しあい、共に生きていける社会をどうやって作っていけばよいか。それを見つけるためには、社会の仕組みについて学び、いろいろな人の意見を知り、その上で、自分で考え、それを実行していくことが重要です。一人ひとりが大切にされる社会とはどのようにすれば実現できるのか、公益大と一緒に考えていきましょう。

略歴 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。修士（経済学）。
千葉商科大学、東京学芸大学等で非常勤講師を経て、2001年4月より東北公益文科大学講師。
准教授を経て、2014年4月より現職。日本公益学会理事、日本ニュージーランド学会事務局長。

子ども・家庭福祉に関心のある方に

「子どもの権利条約」を知っていますか？

少子化が進む中、子ども一人ひとりの人格が尊重され、尊厳が保持されるために、子どもの権利を守ることが欠かせません。子ども自身の立場から守ってほしい権利、社会で大人が守るべき権利には何かがあるか。その権利を守るために配慮すべきこと、身近に誰もができることを一緒に考えてみましょう。

白畑 真由美 准教授

- 出張講義分野
児童・家庭福祉
- 研究分野のキーワード
子ども・子育て支援、発達支援
- 専門分野
児童・家庭福祉



大学ではこんなことを研究しています

児童・家庭福祉分野において行政や関連専門機関の連携協働による、子育てしやすい環境づくりを大切にしています。地域みんなで子育てをあたたく応援できる仕組み作りや人材育成に取り組めます。

先生からメッセージ

誰でも好きなことと嫌いなことがあり、得意なことと苦手なことがあります。その好きなことと得意なことを活かし、自分も他人も大切に思えるような、社会人・福祉職を目指しましょう。そのために、自分自身の考えを持つ、わかりやすく伝えて、そして、相手の考えを聴き、思いを想像する。この力を最大限引き出せるように、大学という学びの場で応援します。

略歴 東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科卒業。
地方自治体勤務を経て、2023年4月から現職。
社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師の国家資格を有する。

地域と共存する 「社会福祉法人」とは？

少子高齢化、孤立、貧困など、さまざまな社会的課題があるなか、それらに幅広く対応する組織が社会福祉法人です。福祉の課題は地域社会に存在しても、自分が直面したり困らなければ目に映りづらいものです。私たちがどのように地域社会の課題に向き合っていくことができるか、一緒に考えましょう。

鈴木 淳一 准教授

- 出張講義分野
社会福祉学、福祉経営、相談援助
- 研究分野のキーワード
社会福祉法人、経営戦略、公益性と事業性
- 専門分野
社会福祉学、福祉経営



大学ではこんなことを研究しています

社会福祉事業を運営する組織、なかでも社会福祉法人の経営について研究しています。地域社会に暮らす人々がその人らしく暮らすことを、長きに亘ってサポートできる組織経営のあり方や、そのための方策を研究しています。

先生からメッセージ

私たちの暮らす社会は、不確実さ、曖昧さ、複雑さ、変動しやすさを増し、問題への正解が見出し難いと言われます。そうした社会では、大多数の人たちが当たり前だと思える生活から、望まずにこぼれてしまう人が生じやすくなってしまいます。社会福祉や公益とは、そうした人たちに、そしてそうした困りごとを生じさせる側面を持つ社会に向ける、「自分事」の実践を学ぶキーワードです。自ら問い、考え、発信する公益大は唯一の正解ではない多様な方策を創出できる場です。皆さんと一緒に学び、語り合えることを楽しみにお待ちしております。

略歴 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了。修士（社会福祉学）。社会福祉法人、株式会社勤務を経て、2024年4月より現職。社会福祉士、介護福祉士の国家資格、介護支援専門員の資格を有する。

福祉って何だろう？

身近でよく耳にする言葉だと思いますが、「福祉」についてじっくり考えたことがある人は少ないと思います。少子高齢社会を迎えた日本において重要なキーワードである「福祉」について、私たち人間がどのように生きているかというテーマを通して考えます。

小 関 久 恵 准教授

- 出張講義分野
地域福祉、相談援助、ソーシャルワーク
- 研究分野のキーワード
社会関係、社会的つながり、地域福祉
- 専門分野
社会福祉学、社会福祉教育



大学ではこんなことを研究しています

一人ひとりが輝き、生き生きとした地域社会をつくるための方法を探っています。例えば、防災・減災の取り組みを通じた地域づくり等の実践・研究や、ソーシャルワーカー養成を通じて今後の地域づくりに間接的に寄与するための実践・研究です。社会福祉学は、どのような地域をつくるかを考える際に非常に重要な分野です。

先生からメッセージ

今、将来の見通しが難しい時代です。その中では、自ら考え、実践し、ふりかえり、また次の一步を踏み出す粘り強さが必要です。そんな力を身につけたい人を応援したいと考えています。大学は、人や書物や多くの出来事との出会いの場です。そして、さまざまな挑戦ができる場所。自分自身を磨くチャンスは実は身近にあるものです。可能性を秘めたみなさんをお待ちしています。

略歴 北海道医療大学大学院看護福祉学研究科臨床福祉学専攻修士課程修了。修士（臨床福祉学）。2006年4月より東北公益文科大学実習助手。助教、講師を経て、2021年4月より現職。社会福祉士、精神保健福祉士の国家資格を有する。日本社会福祉教育学会、日本社会福祉学会、大学教育学会所属。

個人的なことは社会的なこと

社会学というツールを通して、個人的な問題として扱われがちな出来事が起こる過程を辿っていくと、実はその背景に私たちがつくり上げてしまっている社会の仕組みが深く関わっていることがわかります。さて、そこでいう「社会」とは何で、個人の問題にどう関わってしまっているのでしょうか。

藤原良太 助教

- 出張講義分野
社会学、障害学
- 研究分野のキーワード
社会的排除／包摂、インクルーシブ教育、障害
- 専門分野
社会学、障害学



大学ではこんなことを研究しています

特定の人たちをカテゴライズしたり、その人たちが特定の場所や場面から排除したりすることを社会のシステムによる選択として分析します。とくに教育の場に焦点を当てて、「障害児・者」とされる人たちに対する排除／包摂が起こるプロセスを観察し、記述します。それを通し、ありがちな排除とは異なる選択肢を描き出します。

先生からメッセージ

大学で学べることは、いわゆる「現場」で学ぶことに比べれば僅かかもしれません。ですが、現場から離れているからこそ学べることもあります。自分が「わかっていること」だけではなく、自分が「何をわかっていないのか」がわかれば、現場特有の困難に向き合うのにどんな準備が必要なのかもわかります。タフな状況も少し距離を取って観察してみると、陥りがちなよくないパターンと、たまに例外的にあるよいパターンを発見することもあります。後者は打開のヒントです。自分と自分以外との関係を冷徹に観察できる視点と知識を学びましょう。

略歴 法政大学大学院社会学研究科修士課程修了。修士（社会学）。自治体等での勤務を経て、2023年4月より東北公益文科大学実習助手。2024年4月より現職。立命館大学生存学研究所客員研究員を現任。社会福祉士の国家資格を有する。

環境変動下での資源管理と地域のレジリエンスを学びたい方に

コモンズと地域のレジリエンス

気候変動への対応が求められる中、エネルギー、食料、水・土地資源の動向は地球環境問題とも密接に関係しています。資源利用に関わる地域的・国際的問題に重点を置いて、地域共有資源（コモンズ）の現状を把握した上で、その管理主体・組織が、地域のレジリエンスに果たす役割とその将来像を考えます。地域が自立的に発展する道筋をアフリカや他の地域の農村の事例とともに一緒に考えましょう。

梅津千恵子 教授

●出張講義分野

環境と資源管理、気候変動と農業生産、途上国経済

●研究分野のキーワード

農業の気候変動対応、地域のレジリエンス、管理組織

●専門分野

環境資源経済学、農業経済学、開発経済学



※もっと詳しく
知りたい方は



<https://researchmap.jp/umetsuchieko>

大学ではこんなことを研究しています

主に発展途上国における気候変動等の環境変動へ対応する農村社会、農村世帯の農業生産や資源管理とレジリエンスの関係を中心に研究しています。SDGsではGoal 1「貧困をなくそう」、Goal 2「飢餓をゼロに」に特に関連が深いです。灌漑組合等の地域資源を管理する組織経営体にも興味があります。

先生からメッセージ

気候変動という身近で起きている地球規模の環境問題に関して、実際の現場ではどの様な対応をせまられているのか、どの様な支援が必要なのかを考えます。物事を見る視点として狭い範囲で起こっていることが、全体の中ではどの様な位置づけになっているのか、俯瞰し比較する視点が重要です。地域（ローカル）と世界（グローバル）をつなぐ視点を持って、地球環境問題に対して自らが当事者となって行動するためには何が必要なのか一緒に考えましょう。

略歴 ハワイ大学農業資源経済学研究科博士課程修了。博士（農業資源経済学）。

青年海外協力隊、JICA、神戸大学、総合地球環境学研究所、長崎大学、京都大学を経て、2024年4月より現職。

世界の言語、文化、社会等を学ぶのに教科書では飽き足りない方に

世界の今を彩る言語、文化、社会と歴史

欧米と日本での永い研究・教育経験を基に、世界の言語や社会や文化、その背後にある歴史について紹介し、そこから私たちの地域社会についても一緒に考えます。例えば、言語消失とは何か。手話とは何か。ベルリンの壁崩壊とEU(ヨーロッパ連合)の進展。ピカソの絵画「ゲルニカ」とスペイン・バスク地方の自治。

星 宏 人 教授

- 出張講義分野
世界の言語、文化、社会、歴史
- 研究分野のキーワード
文法、意味、言語運用(語用)
- 専門分野
言語学、英語学



大学ではこんなことを研究しています

文法性判断等のプロセスを適切に捉えるために、ヒトの言語運用に注目し、ヒトが心の中に順次どのように統語・意味構造を創り出しているのかを研究しています。さらにヒトの文法性判断は一つの言語運用であるため、言語運用を捨象して研究する生成文法理論等はヒトの文法性判断を根本的に説明できないと論じています。

先生からメッセージ

言語、文化、社会、歴史を横断的に考察することにより経験することのできる発見や驚きや感動が受講生の物事の理解を深め、応用する力を養うことに役立ち、自分から色々な問題に取り組む力をつけるためのヒントとなればと考えています。高校での教育科目の枠組みにとらわれず、変化に富む切り口で実例を基に参加者のもっと知りたいという気持ちを刺激できればと思います。

略歴 米国コネチカット州立大学大学院言語学科博士課程修了。PhD(Linguistics)。英国ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)Lecturer、スペインバスク大学文献・地理・歴史学部Visiting Professor、秋田大学教育文化学部教授(附属中学校長兼務)を経て、2025年4月より現職。秋田大学名誉教授。

自分に合った効果的な英語学習方法を学びたい方に

効果的な英語の学び方

日本人にとって母語と語族的に遠い英語は習得が難しい言語です。やみくもに時間ばかり費やすのではなく、自分に合った効果的な方法や教材を賢く選んで学ぶことが大切です。この講義では、第二言語習得研究などから効果が明らかになっている学習方法や教材の選び方などについてお話しし、英語力向上のヒントを提供します。

大山 慎一 教授

●出張講義分野

外国語活動、外国語学習・教育(英語)

●研究分野のキーワード

動機付け、個人差、インプット×アウトプット

●専門分野

英語科教育法、実践教育論



大学ではこんなことを研究しています

本学が準備を進めている機構改革の一環として、英語教員を目指す学生を対象とした教職科目「英語科教育法Ⅰ～Ⅳ」のコンテンツ開発に携わっています。

先生からメッセージ

私自身も高校生の皆さんと同じ現役の英語学習者です。長年にわたり多くの失敗を重ねながら、効果的な英語学習の方法論を模索してきました。また、38年間の高校教員としての経験から、先生方が多忙を極める中で日々の授業改善に取り組んでおられる姿を知っています。そんな高校生や高校の先生方にとって、取り組みやすく、実行可能性の高い学習方法や教育方法の改善について、一緒に考えていけたらと願っています。

略歴 放送大学大学院修士課程修了。修士(学術)。

元公立高校教員。山形県教育センター所長、山形県立酒田東高等学校長などを経て、2023年4月より東北公益文科大学特任教授。2024年4月より現職。

文学のすすめ

文学とは何かについて分析し、純文学と大衆文学のそれぞれの特徴や、昭和以前と平成以降の文学の発展と変化について例を挙げて説明します。

呉 衛 峰 教授

- 出張講義分野
文学作品鑑賞、中国の歴史と文化、異文化交流
- 研究分野のキーワード
日中比較文学、近代文学、異文化間の交渉
- 専門分野
比較文学、比較文化



大学ではこんなことを研究しています

平安時代の和歌と漢詩の比較研究。江戸時代の文学思想における儒学の影響についての研究。近世から近代までの俳句発展史の研究。文学作品の翻訳研究。

先生からメッセージ

様々なジャンルの文学作品を読んでみてください。心の滋養にもなりますし、世界が広がります。

略歴 中国出身。東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化コース博士課程後期課程修了。博士(学術)。
2007年4月より東北公益文科大学准教授。2014年4月より現職。

海外留学に関心があり、正しい情報の見分け方を学びたい方に

クリティカル・シンキング のススメ

クリティカル・シンキングとは、自分の意見を筋道立ててきちんと述べられる能力、適切な基準や根拠に基づく偏りのない論理的な思考です。頭から鵜呑みにしないで、「本当にそうだろうか」と自分自身で考える習慣を身につけると、思わぬ発見があると思います。

松 田 憲 教授

- 出張講義分野
クリティカル・シンキング
- 研究分野のキーワード
英文読解、速読、読解効率
- 専門分野
応用言語学



大学ではこんなことを研究しています

英文速読において、WPM(1分間に読める単語数)と読解効率を可視化及び比較して意識しながら読むことにより、効果的に読解力を向上させる方法を研究しています。

先生からメッセージ

皆さんは英語を何のために学んでいますか?本学では、習熟度別によるクラス編成で、読み・聞き・話し・書くの4技能をバランスよく身に付けていきます。知識としての英語を学ぶ段階から、英語をコミュニケーションのためのツール(道具)として活用できる人材を養成します。

海外留学に積極的にチャレンジして、英語をツールとして使いこなし、グローバルに活躍できる人材を目指しましょう!

略歴 オハイオ州立大学大学院教育学研究科外国語教育学修士課程修了。修士(文学)。
国際基督教大学教育研究所研究員I、早稲田大学非常勤講師、亜細亜大学助教授を経て、
2001年4月より東北公益文科大学助教授。2014年4月より現職。

英米文学の小説作品の鑑賞

英米の小説の中で、テーマを表現するに際して、一見相矛盾する意味を表すような逆説描写や比喩描写が使われた作品の解釈を試みます。

加藤 良 浩 准教授

- 出張講義分野
英米小説の解釈と鑑賞
- 研究分野のキーワード
アメリカ南部ルネサンスの小説、カトリック小説
- 専門分野
英米現代文学、アメリカ文化



大学ではこんなことを研究しています

南北戦争後しばらくして、アメリカの南部地域には南部ルネサンスと呼ばれる文芸の興隆が起りましたが、それらの特に、テーマに関わって批評家の見解が分かれる小説作品と、キリスト教の教えを題材にした英米の小説作品の解釈・研究に取り組んでいます。

先生からメッセージ

英米の小説作品のテーマを理解するにあたっては、得てして外国語としてゆっくりと読み進める不器用な方法が有効である場合があります。英語の母語話者なら、あまり意味のない語として読み飛ばしてしまうような些末な表現の中にこそ、テーマを理解する上で重要な意味が込められている場合が少なくないからです。あれこれ迷い考えながら、作品を読み進めテーマの解釈を試みることによって、既成の価値とは異なる価値の発見や思考のための新たな視点を一緒に模索していきましょう。

略歴 早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程英文学専攻単位取得退学。修士（文学）。
公立高等学校英語教諭、北里大学、東京未来大学非常勤講師を経て、2024年4月より現職。

途上国の実態と国際協力の世界を学びたい方に

途上国の多様性を理解した上で 国際協力を考えてみよう

国際協力を考える時に最も大事なことは、途上国の実情を理解することです。そのため、発展途上国の実態を先ず知り、それぞれの途上国に合った支援を考える必要があります。そして、そのような支援の中には、農業振興や産業育成のような経済開発分野、教育や福祉、保健衛生のような社会開発分野、環境・生態系保全のような環境分野があります。

東江 日出郎 准教授

●出張講義分野

発展途上国の実態、国際開発（協力）論、
途上国開発と地域住民・行政・政治

●研究分野のキーワード

国際開発論、開発と政治・行政、開発と平和

●専門分野

国際開発（協力）論、開発と政治・ガバナンス



大学ではこんなことを研究しています

世界の途上国では、政治や行政が健全でないために、貧困や飢餓、貧富の格差、環境の破壊、民族紛争、感染症など、様々な問題を引き起こしています。また、その途上国の政治や行政の悪さの背景には、現在の先進国がかつて行った植民地支配が影響しています。そのため、政治や行政を良くすることそれ自体が重要になります。私は、途上国の政治や行政と開発の関わりの実態を調べ、それを改善するにはどうすればよいかを、東南アジアのフィリピンを事例に考えています。

先生からメッセージ

皆さんが「世界」という時、頭に思い浮かべるのはどの国でしょうか。アメリカ、中国、イギリス、フランスなど、欧米やアジアの一部の「先進国」ではないでしょうか。これらの先進国は、世界の1/6にも満たない国々です。つまり、世界の圧倒的多数派は「途上国」で、途上国のことを知らないで「世界を知っている」とは言えません。世界の広さと多様性を理解し、途上国と自分の生きている日本の関係性を理解した上で、何故、国際協力が必要で、どんな協力が行われているかを考えてみませんか。

略歴 名古屋大学大学院国際開発研究科国際協力専攻博士課程後期課程修了。博士（国際開発学）。
日本国際協力センター技術専門家、米国のEast-West Center客員研究員（国際交流基金小渕フェローシップ）、
名古屋大学等非常勤講師、金沢大学准教授を経て、2020年9月より現職。

英語の発音のスキルアップ

Students will learn about the different sounds that make up the spoken language of English and how to produce them. In order to speak English fluently, it is important to learn correct pronunciation as well as the stress, intonation and rhythm of English speech.

フェック・エドモンド准教授

- 出張講義分野
English Communication, English Presentation
- 研究分野のキーワード
English Phonology 英語音韻論
Pronunciation Instruction 発音指導
- 専門分野
Second language acquisition
第二言語習得



大学ではこんなことを研究しています

I am researching effective ways to teach natural English pronunciation to Japanese learners.

先生からメッセージ

English is becoming more and more important as a tool for communication both in Japan and throughout the world. At Koeki, you will have the chance to improve your speaking, listening, reading and writing skills through the courses we provide. You will have great opportunities for learning and studying abroad. But the progress you make in English will be down to how much effort you put in. I'm looking forward to helping you achieve your study goals.

略歴 イギリス出身。英国シェフィールド大学院情報管理専攻修士課程修了。修士(情報管理学)。
東北公益文科大学非常勤講師、山形県酒田市ALTを経て、2018年4月より東北公益文科大学講師。2023年4月より現職。

ちょっと中国語に触れてみたいという方に

かじってみよう中国語

中国語のあいさつなどを練習しながら中国語の発音や漢字などを紹介します。日本語と中国語はまったく別のことばですが、日本の漢字がもともと中国から伝わってきたこともあり共通点もあります。中国語を学ぶことで日本語について、また異文化理解について新たな気付きがあるかもしれません。

渋谷 周二 特任准教授

- 出張講義分野
中国語
- 研究分野のキーワード
中国語教育
- 専門分野
応用言語学



大学ではこんなことを研究しています

中国語教育、特に発音指導について研究しています。

正しくそして中国語らしい発音をいかに効率よく習得してもらえるかに重点を置いています。

先生からメッセージ

漢字で「手紙」と書いてあれば私たちはもちろん手紙を表すと考えますが、中国語ではトイレトペーパーを表します。中国語ってヘンだと感じてしまいがちですが、中国語の立場から考えてみると「手紙」と書いて手紙を表す日本語の方がヘンだと感じられるかもしれないということになるわけで、自分との違いを前に一方的に相手がヘンだと決めつけない方がよさそうだということに気付かされます。公益大の授業では中国語を練習しながら、時々ちょっと脱線しては皆さんと一緒にあれこれ考えていきたいと思っています。

略歴 吉林大学大学院応用言語学修士課程修了。修士（応用言語学）。東北公益文科大学非常勤講師を経て、2017年4月より現職。

考えを世界と伝え合うための スキルを発展させる

「知識は力なり」ということわざを聞いたことがあると思います。しかし、身に付けた知識も使えなければ意味がありません。知識を実行に移すにはコミュニケーション力が重要になるので、この講義ではそのコミュニケーション能力を身に付けていきます。

バンティング・ ティモシー 特任助教

- 出張講義分野
第二外国語(英語など)
- 研究分野のキーワード
応用言語学
- 専門分野
語彙習得

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://timbunting.com/>



大学ではこんなことを研究しています

単語を効率的に学ぶにはどうすればよいかを研究しています。他に、どのようにして第二言語が習得できるのかを研究しています。

先生からメッセージ

第二言語(英語だけではなく)の話せる自分を想像してみてください。どんな能力を持っていますか?どのようにその能力を身につけることができますか?言語を覚えるには使わなくては習得できませんが、中学校や高校の授業では使うチャンスがほとんどないように感じます。文法の解説の授業も大事ですが、会話やスピーチ、インタビュー、作文などを実践することによって、より第二言語を身につけることが出来るのではないのでしょうか。

略歴 ニューージーランド出身。

ヴィクトリア大学ウェリントン校大学院言語学・応用言語学研究科修士課程修了。修士(応用言語学)。
山形県庄内町ALTなどを経て、2015年4月より東北公益文科大学助教。2021年4月より現職。

自分の生まれ育ったところは何もないと思っている方に

ジブリのアニメから里の風景を考える

皆さんは農村風景というどう思いますか。何の魅力もないし価値もないと思っていませんか？できれば早く脱出したい、東京に行きたいと思っていませんか？実はとても魅力に富んでいるのです。そのことは、皆さんもジブリのアニメを通してすでに知っているはずです。さあ、この講義を聞いて身近な風景を見直してください。

住民が誇りに思う町、人が良い所ですねと言う町が創りたい方に

中心市街地のまちづくり

地方都市の空洞化が進んでいます。人口は減り、若者はいなくなり、商店街を訪れる人もまばらです。では、どうしたら良いでしょう。この講義では、様々な取り組みをしている各地の事例を紹介し一緒に考えます。また日本に比べて、ヨーロッパの都市がなぜ元気なのかも考えていきます。

温 井 亨 教授

●出張講義分野

中心市街の再生、風景の見方、村づくり

●研究分野のキーワード

町並み保存、文化的景観

●専門分野

ランドスケープデザイン、
都市計画、建築

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://www.facebook.com/koekikanmachi/>



大学ではこんなことを研究しています

空洞化した中心市街地の再生、後継者のいない農山村の再生に関する研究、計画づくり、実践活動を行っています。そのためには、どちらの場合も歴史的な形成の在り方を基礎に据え、現代においてもそれを保存、保全し、活かしていく必要があると考えています。新しいものを付け加える場合にも、歴史的な文脈を踏まえて計画設計する必要があります。

先生からメッセージ

自ら調べ、自ら考えていただきたい。入学後はフィールドワークを行います。まず必要になるのは感性です。何が魅力なのか、何が問題なのか、それを感じ取ることができないと全てが始まりません。演習でも卒論でも、テーマが設定できるかどうかはそこに係っています。そして自ら考えた提案であること、オリジナリティが大事です。コピーは評価されません。ただし、本をたくさん読み、講義を聞いて、知識や手法を自分のものにしておかないと、独創的な提案、発想も生まれません。

略歴 東京大学農学部林学科卒業・同大学工学部建築学科卒業。

建築の設計事務所に勤務後イタリアに遊学、まちづくりカンパニーで歴史的町並みの保存活用を担当した後、大学教員に。2010年4月より東北公益文科大学准教授。2013年4月より現職。

「地域を元気にしたい!」「自然を大切にしたい!」方に

自然を大切に守り育て、 地域を元気にしよう!

「さまざまな立場の人たちが共創し、自然を循環的に利用し保全することで、地域を元気にする」ための仕組みを考えます。住民・NPO・行政・企業等と協力し、中山間・離島の地域づくり、森づくり、海ごみ問題への取り組み、生き物と共生する田んぼなどの事例から、自然と人間が共生する公益社会のモデルを学びましょう!

呉 尚 浩 教授

●出張講義分野

自然と共生する地域づくり、公益とは何か?

●研究分野のキーワード

地域づくり、自然環境保全、ボランティア

●専門分野

環境社会学、地域づくり論

※もっと詳しく
知りたい方は



<http://naogoo.cafe.coocan.jp/diary/>



大学ではこんなことを研究しています

私の研究室では「多様な主体の共創による自然の循環的利用・保全と地域づくり」をテーマにしています。具体的には、中山間・離島地域の活性化(ビジョンづくり、防災、観光、移住定住促進、ジオパークなど)、森林保全、海ごみ問題解決への取り組み、生き物と共生する農業などのフィールドで、「公益社会のデザインと実践」に取り組み、山形から全国に発信しています。

先生からメッセージ

私は「公益は“愛”なり」、すなわち、公益とは「“他者(自然や人々)の存在”を尊重し、“他者への思いやり”と“他者とのつながり・調和”を大切にする心、それにもとづく思考と行動である」と考えています。大学の授業では、フィールドワークを重視して、公益を求める「心」のあり方、実現するための具体的な「方法」論と「行動」力の三つをバランスよく身につける実践的な学びを展開しています。「他者が喜ぶことを、自分の幸せにつなげる」ことで、有意義な生き方をしたいと考えているみなさんを、ぜひともお待ちしております!

略歴 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。修士(経済学)。
2001年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2013年4月より現職。
出羽庄内公益の森づくりを考える会会長、とびしま未来協議会代表。

新しい経済をつくる ローカルベンチャー

ベンチャー企業とは、リスクを恐れず新たなビジネスに挑戦する若い企業、起業家のことで、本格的な人口減少、高齢化を迎えた地方では、地域創生の担い手としてローカルベンチャーが注目されています。東北地方のローカルベンチャーの状況や特徴を知り、ローカルベンチャーが作りだす新しい地域の未来について考えましょう。

青木 孝弘 教授

●出張講義分野

社会起業、アントレプレナーシップ

●研究分野のキーワード

地域イノベーション、ローカルベンチャー、社会的インパクト

●専門分野

社会起業、アントレプレナーシップ

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://researchmap.jp/aokitaka>



大学ではこんなことを研究しています

特定の地域に拠点を置き、その地域の優位性を活かして経営を行う地域企業と、地域の課題をビジネスの手法で解決する社会起業に着目して、これらの企業がいかに地域を活性化できるのかを研究しています。年間15社ペースで地域企業を訪問して、実践的な知識を蓄積し、その体系化に取り組んでいます。

先生からメッセージ

東京や仙台などの大都市では、自分がいかに頑張ったとしても、それが地域の発展や振興につながっている、という実感を得ることはなかなか難しいです。一方、本格的な人口減少と少子高齢化が到来した地方では、若者が少なく大変だけれども、自分の活躍が地域の振興に直接つながっているというやりがいを、仕事や地域との関わりを通して感じるができます。みなさんも公益大で、やりがいのある仕事や人生の土台を築いてみませんか。

略歴 東北公益文科大学大学院公益学研究科博士課程後期課程修了。博士(公益学)。
国内外の社会的企業やまちづくりNPO等で勤務後、会津大学短期大学部、宮城大学を経て、2024年4月より現職。

サブカルチャー空間の「ことば」研究

マンガやアニメに登場するキャラクターのセリフや、ポップスやロックの歌詞の中に、きっと皆さんお気に入りの「ことば」があるでしょう。そうした「ことば」はなぜ心を揺さぶるのでしょうか。その「ことば」の背後には、どのような意味や意図があるのでしょうか。私と一緒に、社会学の方法を使って、解明しませんか？

渡辺 暁雄 准教授

- 出張講義分野
余暇社会学、社会調査論、サブカルチャー論
- 研究分野のキーワード
社会学、生活文化論、大衆文化論
- 専門分野
社会学、生活学



大学ではこんなことを研究しています

- ・インタビューなどの質的な調査の方法と機能およびその役割
- ・鶴岡市加茂地区のまちづくりに関する研究
- ・サブカルチャー
- ・台湾の近現代と先住民族など

先生からメッセージ

知識の詰め込みではなく、様々な事例（流行現象、映画、マンガ、アニメ、ポップス等）を引用したり、学生同士のグループワークを通して、実社会の様々な場面で「使える道具^{ツール}」としての学問を、身につけてもらうように心掛けています。

略歴 明治学院大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程後期課程中退。修士（社会学）。2001年4月より東北公益文科大学講師。2005年4月より現職。

日本と海外の観光振興の仕方に興味を持つ方に

歴史的街並み保全の国際比較

歴史的街並みは地域の観光資源であり、住民の住まいであり、地域アイデンティティの表象でもあります。このような複雑な要素を絡め合わせている存在は現在、世界各国において保全活動が進められています。そこにどのような相違点があるのかを日本と海外のケースを比較して、保全に向けた新たな発想を喚起していきます。

張 紅 助教

- 出張講義分野
文化地理学、観光地理学
- 研究分野のキーワード
歴史的街並み、保全、日本、中国
- 専門分野
文化地理学、観光地理学



大学ではこんなことを研究しています

歴史的街並みといっても、地域や国によって異なる保全の仕方がとられています。地域に足を運び、住民の話聞き、それぞれの地域がどのようにして自らのふるさとである歴史的街並みを保全してきたのかを調査して、論文にまとめます。できれば、地域のよりよい発展にも提案をしていきたいと考えています。

先生からメッセージ

「万巻の書を読み、万里の道を行く」。本を読まない、どのように地域を見ればよいかわかりません。かといって、本だけ読んでも、本当の地域を知ることができません。本を読むことと地域を歩くこととの往復運動によって、地域の本当の姿を初めてつかむことができるのです。これが大学における地理学の基本原理です。高校までの地理学は知識の詰め込みのイメージがあるかもしれませんが、大学の地理学はその知識を応用して、新たな分析方法を学んで地域のことを解読していきます。旅行好き、写真好きの方におすすめの学問です。

略歴 中国出身。筑波大学生命環境科学研究科地球環境科学専攻修了。博士（理学）。
山形大学、筑波大学RA（リサーチアシスタント）・TA（ティーチングアシスタント）を経て、2023年4月より現職。

交通行動に関わる 人間の心理特性について

自転車関連事故、高齢ドライバーの事故、子どもの事故等、道路上では日常的に様々な事故が発生しています。交通事故の原因の多数を占めるのはヒューマンエラーと言われますが、事故に結びつく人間特性を概観しながら、安全に道路を利用するための方法について考えます。

神 田 直 弥 教授

- 出張講義分野
ヒューマンエラー防止、交通心理学
- 研究分野のキーワード
道路交通、公共交通、事故防止
- 専門分野
安全人間工学、交通心理学

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://e-sahf.jp/koeki/>



大学ではこんなことを研究しています

最近は運転免許の返納や公共交通の利用に関心を持っています。質問紙調査やインタビュー調査を通して免許返納後の不安や、公共交通への要望を明らかにしています。これらに基づき免許を手離しても安心をして生活することができるようにするための方策について検討しています。

先生からメッセージ

困難なことにはできる限り挑戦してください。現在の自分の実力でできるだろうと思うことばかりしていても成長できません。難しいことにチャレンジすることで、自分の課題が見えてきますし、強みも見えてきます。課題を理解することは成長のチャンスにも繋がります。本学ではインターンシップやプロジェクト型応用演習等、課題に取り組む演習科目を多数取り揃えています。また、企画を立案して実践するような課外の活動も豊富に行われています。こうした機会を活用して、充実した4年間を是非過ごしてください。

略歴 早稲田大学大学院人間科学研究科博士課程後期課程修了。博士（人間科学）。
2005年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2015年4月より現職。
2016年4月～2020年3月公益学部長。2020年4月より東北公益文科大学学長。

コンピュータを学びたい方に

消えたデータが復活！『情報漏洩のからくり』

USBメモリ、使っていますか？大切なデータをUSBメモリに入れたら、それを消すのは大変な作業なのです。あちこちで情報漏洩の事件が発生し新聞記事を賑わせていますが、かなり注意していても情報漏洩が起こりうることを目で見ても実感しましょう。

新しいメディアに興味のある方に

ドローン飛ばして強くなる？

ドローン、飛ばしたことありますか？空を飛ばすおもちゃのような存在ですが、それを利用して生活を豊かにしたりチームを強くしたりすることができます。ドローンを巡る高度な技術について知り、これから何を学ばばよいか考えましょう（天候等条件次第で空撮体験も可能ですので御相談下さい）。

広瀬 雄二 教授

●出張講義分野

コンピュータ、情報セキュリティ

●研究分野のキーワード

テキスト処理、Unix、オープンソースソフトウェア

●専門分野

情報処理

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://www.yatex.org/koeki/labo/>



大学ではこんなことを研究しています

公益大ではユーザインタフェース、システム管理、セキュリティ管理、利用教育、Webデザイン、公益的デザイン、公益的システム、フリーソフトウェア、オープンソース、オープンシステムなどの研究をしています。

先生からメッセージ

オープンソースソフトウェア(OSS)とは、世界中の人が協力して作り上げている、無料で公開されている公益的なソフトウェアのことです。本学ではOSSを使用した情報科目を多数設置し、それを利用するだけでなく、自らが誰かの役に立つシステムを作り上げることで、コンピュータを従える知識と論理的思考力を高めています。

略歴 山梨県出身。慶應義塾大学大学院理工学研究科管理工学専攻博士課程後期課程単位取得退学。修士(管理工学)。同大学ITC助手、同大学ネットワークサービス構築に参画。2001年4月より東北公益文科大学助手。講師、准教授を経て、2021年4月より現職。

天文学入門

惑星・小惑星の探査、宇宙人はいるのか、宇宙の始まりと終わりなど皆さんが興味を持っていそうなテーマでお話します。また、実際にインターネット望遠鏡を使った天体観測を体験することもできます。

山本 裕 樹 教授

●出張講義分野

物理学、天文学、統計学

●研究分野のキーワード

素粒子理論、インターネット望遠鏡

●専門分野

物理学、天文教育

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://www.kitp.org/itp/>



大学ではこんなことを研究しています

素粒子理論やインターネット望遠鏡を活用した天文教育の研究を行っています。インターネット望遠鏡とは、遠隔地に設置した無人の望遠鏡をインターネット経由で操作し天体観測を行うシステムです。海外の望遠鏡を利用して昼間でも天体観測ができます。高校でインターネット望遠鏡を活用した探究型のゼミ指導も行っています。

先生からメッセージ

本学では教養科目として物理学、天文学、統計学などを教えています。授業では座学だけではなく実験や観測も行い、実際に学生にいろいろなことを体験してもらいたいと考えています。

略歴 熊本県出身。九州大学大学院理学研究科基礎粒子系科学専攻博士課程後期課程修了。博士(理学)。
2009年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2023年4月より現職。

素粒子物理学に興味があり、高等学校で物理を選択している理系の方に

対称性と自然界にある物理

対称性がどのようなものかを説明し、自然界で見られる例を見ながら、素粒子物理学における対称性のやぶれについて考えていきます。

西村 まどか 准教授

- 出張講義分野
数学、物理学(素粒子物理学)、情報(データサイエンス)
- 研究分野のキーワード
素粒子物理学
- 専門分野
素粒子物理の超弦理論、とくに一般相対論



大学ではこんなことを研究しています

超重重力理論からのインフレーション模型の探索

先生からメッセージ

講義を通じて、つまずいた過去を乗り越えたと何が新しく見えてくるかを伝えるようにしています。そしてわからないことから逃げない学生を育てていきたいと考えています。

公益大では考えてもらう時間と発表の機会、発表のあとの議論を重ねて、発表した内容で次に何ができるか、あるいはどう使えるか、で頭の中を埋めてもらいます。これは大学の中でしかできない貴重な時間です。

略歴 お茶の水女子大学大学院人間文科研究科複合領域科学専攻博士課程後期課程修了。博士(理学)。
2005年4月より東北公益文科大学講師。2009年4月より現職。
日本物理学会所属。

危ない Web サイトとは？

サービスがインターネット上で提供される機会が増え、趣味嗜好といった個人情報や決済情報などを取り扱うものも増えています。アクセスする Web サイトによっては、悪意のある第三者にこれらの情報が盗まれてしまうことがあります。そのような「危ない」Web サイトにどのようなものがあるか具体例を交えながら解説します。

植田 和 憲 准教授

●出張講義分野

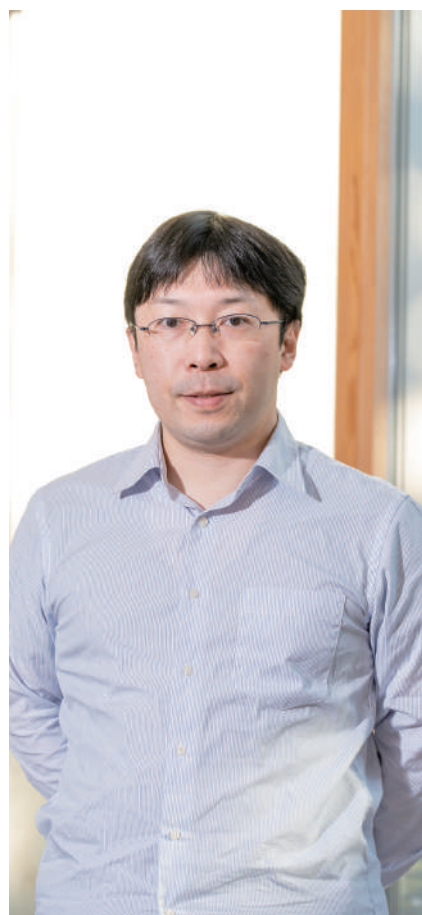
ネットワーク、ネットワークセキュリティ

●研究分野のキーワード

インターネット、無線通信、自律分散ネットワーク

●専門分野

情報ネットワーク、無線ネットワーク、自律ネットワーク



大学ではこんなことを研究しています

複数のコンピュータやネットワーク機器で構成される自律的なネットワークについて研究しています。集合体としてのネットワークの管理技術、多数のコンピュータが持つ情報やデータを効率的に検索・転送するシステム、移動するコンピュータによって自律的に構成されたネットワークでのデータ転送手法などが主なテーマです。

先生からメッセージ

今日では、インターネットを介して提供されるサービスも増え、ネットワークは社会基盤としての役割も大きくなってきています。新しいネットワーク関連技術は、純粋な通信あるいはデータの転送としての側面だけでなく、さまざまな知識や応用技術との融合によって広がりを見せており、今後も重要なテーマのひとつとして位置づけられると考えています。ネットワークの活用方法・用途、ネットワークをどのように「作る」か、どのようなセキュリティ上のリスクに対応するかなどを通してネットワーク技術に関心を持ってもらえたら幸いです。

略歴 大阪大学大学院基礎工学研究科博士課程前期課程修了。博士(情報科学)。
大阪大学大学院助手、高知工科大学講師を経て、2023年4月より現職。

星から読み解く宇宙の歴史

天の川銀河の星の運動や元素組成にはその星が形成された時期や場所の情報が刻まれています。望遠鏡による観測とコンピュータシミュレーションの結果を比較することで、これらの情報を読み解くことができます。本講義では、天の川銀河100億年の歴史を最新のシミュレーション映像を交えて解き明かします。

平 居 悠 講師

●出張講義分野

天文学、物理学、コンピュータ

●研究分野のキーワード

銀河形成、元素の起源、数値シミュレーション

●専門分野

天文学、銀河考古学

※もっと詳しく
知りたい方は



https://www.astr.tohoku.ac.jp/~yutaka.hirai/index_j.html



大学ではこんなことを研究しています

天文学の研究をしています。天の川銀河やその周囲の銀河が138億年の宇宙の歴史の中でどのようにできたのかを理解することを目指しています。スーパーコンピュータで銀河形成シミュレーションを行い、すばる望遠鏡などの観測結果と比較することで、星の元素組成や運動から銀河の歴史を読み解きます。

先生からメッセージ

大学では幅広く学び、豊かな教養と専門性を身につけて欲しいと思います。特に情報技術を学ぶことは、現代社会を生き抜く上で必要不可欠です。情報技術は様々な分野との関わりの中で発展してきました。現在の天文学者は、AIや統計解析を駆使して宇宙の謎に挑んでいます。天文学で生まれた情報技術が社会で活用されることもあります。公益大では、全ての学生が情報技術の基礎を学びます。実際に手を動かしながら基本的なソフトウェアの使い方やコンピュータの仕組みを学ぶことができます。公益大で共に学べることを楽しみにしています。

略歴 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了。博士(理学)。
理化学研究所、東北大学、米国ノートルダム大学を経て、2025年4月より現職。

報道現場の「分かれ道」で考える

被災地の取材に入ったら、がれきの中から声が…。救助するか、しないか。長らくジャーナリズムの教科書での正解は「助けない」でした。「報道従事者は現状を変えてはならない」からです。それでも助ける記者がいます。助けられずに心を病む記者もいます。取材現場のさまざまな「二つに一つ」を皆さんならどうするか、実例をもとに考えます。

加藤 嘉明 特任教授

●出張講義分野

報道の倫理、偽情報の見分け方、新聞・テレビの将来

●研究分野のキーワード

地域メディア、ファクト・チェック、調査報道

●専門分野

メディア論、ジャーナリズム論



大学ではこんなことを研究しています

訓練されたジャーナリストが業態を超え、国境も越えて連携する国際的な調査報道が増えています。一方、県紙などの圏域メディアは、客観報道や中立公正といった規範を地域社会の当事者の視点からとらえ返そうとしています。新聞社での経験を活かし、デジタル時代のメディアの役割をグローバルとローカルの両面から追求しています。

先生からメッセージ

私たちはSNSで自由に意見を表明できる「誰もが発信者」の時代に生きています。一見、素晴らしい情報社会のなかで、なぜかフェイクニュースや陰謀論がはびこっています。世界は人種、宗教、政党支持、所得の違いによって分断され、互いに相手を受け入れず、いがみ合っています。どうしたらよいでしょうか。考え方の大きく違う人たちが話し合うとき、共通のよりどころになるのは「事実」しかありません。しかし事実は隠れていたりわかりにくかったりします。対立の世紀を乗り越えるため、若い世代には事実の重みに目を向けてほしいと願っています。

略歴 早稲田大学法学部卒業。

日本経済新聞記者として首相官邸、自民党などを担当後、映像制作会社や民放テレビ局の役員に。上智大学、同志社大学などの非常勤講師を経て、2022年4月から現職。



各分野の教員が出張講義します

対象 高校生を対象とした講義・講演のみ旅費も含め無料

内容 ご希望の内容や詳細はご相談ください

教員や保護者が対象の場合はご相談ください

◆申し込みから出張講義開講までの流れ

Step 1. テーマを何にするか、パンフレットを見て検討

Step 2. 授業・講義のイメージに合う教員を見つける
 ※教員の詳しい経歴等は大学ホームページよりご確認ください
 ※オンラインを希望する場合はご相談ください
 ※8～9月、2～3月は比較的希望に添えることができます

Step 3. 必要事項を伝えて申し込む (TEL/FAX/E-mail/ホームページ)
 ※原則として講義希望日の1ヶ月前までのお申し込みをお願いします

Step 4. 詳細内容の相談・調整

Step 5. 出張講義開講



〒998-8580 山形県酒田市飯森山三丁目5番地の1

☎ 0120-41-0207 Fax 0234-41-1134

E-mail: ao@koeki-u.ac.jp (入試事務室)

<https://www.koeki-u.ac.jp/>

